

最上川上流 水防災意識社会再構築ビジョンの取組

H28.9版

■ロールプレイング演習における、**要配慮者の避難**等の対応訓練実施 ～減災対策協議会で決定した、重点取組として実施～

<今年度演習のポイント>

- ・戦後最大洪水である羽越水害(昭和42年8月)を超える規模の降雨を基にした、要配慮者対応をシナリオに反映。
- ・避難準備情報の発令時期や範囲、垂直避難を含めた避難誘導方法を重点的に確認。

■日時 9月20日(火) 9:30～16:00

■場所 山形河川国道事務所 大会議室、災害対策室

■出席者 演習部:村山市、東根市、天童市、寒河江市、河北町、西川町

統監部:山形河国、山形県、山形地方气象台、山形市、上山市、中山町、山辺町、大江町、朝日町

■内容 羽越水害を超える規模の降雨を基にした、避難勧告・指示発令、要配慮者対応、広域避難検討、情報伝達・収集、大規模災害対応を訓練

■付与の例

「こちらは、特老ホーム ○○○です。入所者を2階に移動させています。手間取っているため、職員派遣をお願いしたい。」要配慮者の避難手段の検討、情報伝達の実施



■想定する行動

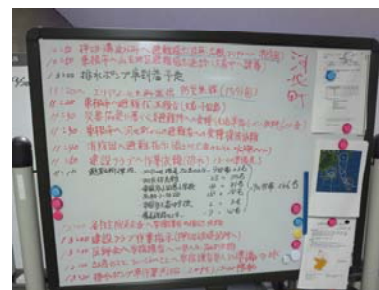
- ・山形河国から浸水想定区域図を入手
- ・垂直避難か、浸水区域外への避難か？



統監部(要配慮者利用施設役)



演習部・天童市



要配慮者に配慮した プレイヤーの対応 (演習部・河北町)

- ・早めの避難情報の伝達
- ・各自主防災会長へ要配慮者の確認依頼



模擬記者会見による 要配慮者対応の 考え方の確認

「氾濫が想定される区域に、要配慮者利用施設はあるのか？」